

入選

蛇口一つで救える命

小矢部市立石動中学校 三年 水上 陽葉

水がなくなった世界を想像できますか。多くの人はあまりイメージがわからないでしょう。その理由は簡単で、水は私たちの身近に当たり前のように存在しているからです。私たちが住む地球の表面の三分の二は水でできています。こんなにも水に恵まれている星は地球だけでしょう。そして私たちの体の大部分は水でできており、赤ちゃんの体の三分の二は水なのです。このことから、水は生命の源で、生きていくためにはなくてはならない存在であり、常に私たちの身近にあることが分かります。それはとても幸せなことですが、その幸せをあたり前だと思っではいけません。

私たちは、一日どのぐらいの水を使っていると思いますか。日本では、一日二百四十リットル使っているといわれています。日本の人口の約一億二千五百万人がこんなに大量の水を使っても水がなくならないのは、水がたえず循環しているからです。湖や川、海の水が太陽で温められて蒸発すると、雲ができてそれが重くなり、雨となって地上を潤します。このようにして水はなくなることなく私たち人間を支えているのです。しかし、水の循環で流れる地下水より多く水を使用すると水脈が枯れてしまうことがあります。そうなる大きな問題が二つ出てきてしまいます。一つ目は井戸が干上がり植物が枯れてしまふということですが、この問題が起こると、農作物も育たなくなり、食料の価格が大幅に高くなります。二つ目は土壌が乾燥し、地面が荒れ、それに伴い家や道路にひびが入ることもあります。このように、水がなくなると、人が住むには困難な環境に変化してしまいます。私は、このような問題を防ぐためには、水を使い切るよう工夫することが必要だと思います。例えば、風呂の残り湯を水やりや洗たく物などに利用することや、水が必要な量だけ取るようにすることです。しかし、大半の人は水を使い切るのではなく、新しい水を使い、使わなくな

った水は捨てています。私はこの状態が続くと水がなくなると感じています。私たちは、知らないうちに、自分たちの首をしめているのです。この豊かで美しい水は地球に住む生物の心臓です。だから、私たちは大量の水を使う代わりに地球の水を守っていく義務があると考えています。

日本では地震が多く起こります。自然災害が起こると水道が使えなくなり、地域で配られる水の入ったペットボトルだけしか水が使えなくなるという状況をニュースで見ることがあります。水が配られたときに、とても安心した声で御礼を言うたくさんの人の姿を見て、心が温かくなりました。私はその時に、私たちの国は水が手に入りやすいが普段から水が手に入りにくい国はどうだろうと疑問を持ち調べることがしました。私の心に大きな波がたちました。なぜなら子供たちが水を求めて大きな器を持っている写真を見たからです。私は、子供たちが学校にも行くことができず、遊ぶ時間もほとんどとれない国があるということを知りました。私は、心臓が締めつけられるような気持ちになりました。水に恵まれず、子供たちがこのような運命をたどることになる世界なのだと痛感したのです。

水と人は切れない繋がりをもっており、今まで私たちが生きてこられたのは水のおかげだと思えました。そして、水を守ろうと努力してきた人々と整った環境があるから日本の水は守られていると感じました。

将来、安全な水を飲めない国に水道を作れる人になりたいと思っています。理由は、水が汚染されている国の人を救いたいという気持ちとその国の子供たちに時間を与えたいからです。今、私は夢を追うことができているけれど、その国の子供たちは夢を追う時間がありません。私は、その子供たちにも楽しい未来を思い描けるような環境をプ

レゼントし、幸せな子供たちが増えるようにしたいです。